

かみふらの

議会だより

第 93 号

2017 年 2 月 10 日発行

発行 上富良野町議会



Contents

- 2 P 第 4 回定例会 債権管理条例可決ほか
- 6 P 決算特別委員会
- 7 P 一般質問 6 名の議員が町政を問う。
- 16 P ☆ぴかつ☆と輝くまちのひと

子ども会 もちつき交流会

債権管理 条例可決

第4回定例会を12月13日・14日・22日の3日間開催し、各会計の補正予算、条例などを審議し可決しました。
また、6名の議員が町長・教育長へ福祉・子育て・町づくりなどについての一般質問を行い、町の考えを問いました。



総務産建常任委員会での債権管理条例の審議

平成29年4月1日より施行

債権管理条例は、平成28年第3回定例会において、総務産建常任委員会に付託され、9月21日及び11月8日、24日、29日の4日間にわたる審議の結果、第4回定例会において原案のとおり可決されました。

この条例は、町の債権の管理に関する事務の処理について必要な事項を定めることにより、町の債権管理の一層の適正化を図り、町民負担の公平性及び財政の健全化を確保することを目的とする条例です。

質 疑

問

町民負担の公平性と、財政の健全化を確保することが目的とあるが、町民負担の公平とはどのようなことか。また、現状収納率は99.4%と非常に高い水準にあるが、財政の健全化が期待できるのか。

答

負担の公平性とは、行政サービスを受けるうえで、納付した人と合理的な理由もなく納付しなかった人との公平性を確保することです。

また、高い収納率を維持することにより、将来においても財政の健全化を確保しようとするものです。

条例

非課税世帯の子どもへの

医療費無料化一部改正

平成29年4月1日から低所得者（町民税所得割非課税）世帯に対し、入院、通院にかかる医療費（二部負担金及び基本利用料並びに食事療養標準負担金及び付加給付される額を控除して得た額）を中学3年生まで助成を拡大する条例を可決しました。

区 分		就 学 前	小 学 生	中 学 生
通 院	現 行	市町村民税 課 税	自己負担 〔 3 割 〕	
		市町村民税 非 課 税		
	改 正 後	市町村民税 所得割課税	←-----拡 大 部 分-----→ 全額助成〔 無 料 〕	
		市町村民税 所得割非課税		
入 院	現 行	市町村民税 課 税	自己負担〔 1 割 〕	自己負担 〔 3 割 〕
		市町村民税 非 課 税	初診時一部負担	
		改 正 後	市町村民税 所得割課税	
		市町村民税 所得割非課税	←-----拡 大 部 分-----→ 全額助成〔 無 料 〕	

※ 市町村民税所得割非課税とは、非課税と均等割のみ課税されている世帯をいいます。

上富良野町農業委員会の

委員の定数を定める条例

定数を13名とする「上富良野町農業委員会の委員の定数を定める条例」については、十分な審議時間を要するため、総務産建常任委員会に付託し、総務産建常任委員会の審議ののち、総務産建常任委員会委員長から審議結果の報告を受け、原案どおり可決されました。

上富良野町課設置条例

平成29年4月1日より産業振興課を農業振興課に改め、新たに企画商工観光課を新設する条例を可決しました。

《企画商工観光課》

- ・ 町政の企画振興に関する事項
- ・ 広域行政に関する事項
- ・ 商工業に関する事項
- ・ 観光に関する事項
- ・ 労政に関する事項
- 《農業振興課》
- ・ 農業に関する事項
- ・ 林業に関する事項

富良野広域連合議会

第2回定例会

平成28年富良野広域連合議会第2回定例会が、10月17日に開催されました。

台風10号による被害状況について行政報告が行われ、予算1件、人事2件、認定1件（平成27年度一般会計決算認定）、報告9件が原案通り可決・認定されました。

任期満了に伴う教育委員会委員には、服部久和氏（上富良野町教育委員会教育長）、上林康政氏（南富良野町教育委員会教育長）が再任されました。

補正予算

一般会計の補正予算を可決

平成28年度事業に対する国などからの補助金の確定による、一般会計の補正予算の概要は次の通りです。

泉町南団地3号棟建設に伴う（社会資本整備総合交付金）事業費、上富良野中学校整備第2期工事について、国の二次補正予算において採択された事業費、農政部門移転に伴う経費、開基120年諸行事等映像記録業務実施に伴う経費、公営住宅使用料のコンビニ収納実施に伴う経費の補正及び、各事業費確定に伴う執行残等の減額をする一般会計の補正予算を可決しました。

国民健康保険特別会計

補正予算を可決

国民健康保険特別会計の補正予算の概要は、歳入では、当初見込んでいた退職者の高額医療費の対象者が減少したこと等による減額補正、歳出では、一般被保険者の一人当たり的高額医療費が増額になっていることによる補正、後期高齢者加入者数の減による減額補正が可決されました。

ラベンダーハイツ事業

特別会計補正予算を可決

ラベンダーハイツ事業特別会計補正予算の概要は、寄付による補正、中間浴槽設備整備等による増額補正が可決されました。

現在使用している中間浴槽（車いす入浴装置）は、使用してから17年9か月余り（耐用年数・8年）を経過し、これまでメンテナンスを受けながら使用していましたが、漏水が増加し、昇降に不具合が生じていることから、更新をするものです。

■ 12月補正予算の状況 ■

会 計 名	補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計	4 億 947 万 6 千 円	83 億 801 万 5 千 円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	△ 1817 万 2 千 円
	後 期 高 齢 者 医 療	△ 297 万 2 千 円
	介 護 保 険	0 円
	ラベンダーハイツ事業	1487 万円
	簡 易 水 道 事 業	△ 509 万円
	公 共 下 水 道 事 業	△ 1446 万 4 千 円

※介護保険特別会計は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

意見書を国に提出しました

国による子ども医療費無料制度の
創設を求める意見書

少子化の進行は、高齢化や将来の生産年齢人口の減少にもつながり、子どもの健全な成長への影響のみならず、社会経済や社会保障のあり方にも重要な影響を及ぼすことが懸念されます。

子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要施策となっており、地方公共団体において、乳幼児・児童医療費助成制度が実施されています。このような施策を一層充実させ、子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現のために、中学卒業まで「国による子ども医療費無料制度」を早期に創設するよう強く要望する意見書です。

J R 北海道への経営支援を求める意見書

J R 北海道は、現在の経営路線の10路線13線区を単独では維持が困難であると発表した。鉄路廃止となれば、その地域の過疎化が進むこととなり、公共交通機関としての役割を放棄するものであるといわざるをえない。

J R 北海道は、国の経営安定化基金により経営を維持しており、維持管理には多額の費用が必要である。国においては、重要な移動手段である鉄道の役割を発揮できるように、J R 北海道の経営が自立できるように、財政支援等を図るよう強く要望する意見書です。

契 約

清富開拓の沢川災害復旧工事

請負契約を締結

平成28年7月31日に清富地区に降った集中豪雨による、河川の災害復旧工事の請負契約を、総額5千346万円で、株式会社アラタ工業と締結する議案が、原案通り可決されました。

財 産

上富良野中学校教育用

コンピュータを更新

生徒が授業で活用するパソコンが古くなったため、バージョンアップされたものと更新を行います。教師用1台、生徒用40台の計41台とタブレット端末14台を、947万1千600円で、株式会社コンピュータ・ビジネスより取得する議案が原案通り可決されました。納期は平成29年3月31日までとなります。

指定管理

公共施設の指定管理者の指定

日の出公園施設（日の出公園・日の出公園オートキャンプ場・上富良野町営スキーリフト）に1団体、吹上温泉保養センターに2団体、上富良野町パークゴルフ場に1団体の応募がありました。選定委員会を経て、日の出公園施設と吹上温泉保養センターは、株式会社上富良野振興公社、上富良野町パークゴルフ場は、株式会社シー・エス・ティを、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの期間、指定管理者として指定する議案が原案の通り可決されました。



白銀荘の露天風呂

●議会懇談会のご案内●

議会の活動や行政の動きを広く知ってもらい、市民の皆さまから意見を頂くため、議会懇談会を次の日程で開催します。

テーマ

「町の未来について、議員に聞きたい」

開催日 2月15日（水）

13時30分～ 日東会館

18時30分～ 島津ふれあいセンター
セントラルプラザ

かみん



昨年度の議会懇談会の様子

どの会場にも参加できますので、お気軽にお越しください。
たくさんのご来場をお待ちしています。

平成27年度決算を 審査認定!



平成28年10月3日・4日・5日の3日間、議長と議会選出の監査委員を除く12名で決算特別委員会（村上和子委員長）を開会し、平成27年度の一般会計、国民健康保険特別会計ほか5件の特別会計、病院・水道の2企業会計の決算を審議しました。

分科会に分かれて全会計の歳入・歳出伝票の検査、歳入・歳出に関する質疑などを行い、町長に一般会計5項目、2特別会計に3項目の意見を付し、第4回定例会で認定しました。

8項目の審査意見を付しました

一般会計（5項目）

国有資産等所在市町村交付金

地方税法の固定資産税と整合性を図るよう国に働きかけを。

定住・移住

町の人口減少の抑制のため、町内雇用環境の情報提供など住み続けられるような支援体制強化と利用の向上を。

ホームページの充実

情報発信については、様々なツールを活かし、更なる内容の充実に。

富良野・美瑛広域観光

成果を上げられるよう努力を。

公園

維持管理の充実の努力を。

介護保険特別会計（1項目）

医療と介護の更なる連携と包括ケアシステムの構築を。

ラベンダーハイツ特別会計（2項目）

1. 介護保険事業者として、さらなる経営努力を。

2. 施設老朽化が著しいことから、維持改修を計画的に。

第6回臨時会（10月26日開催）

平成28年度一般会計補正予算を可決

上富良野町プレミアム付商品券発行補助事業、8月の連続台風による演習場内ベール川等の被災に伴う南部地区土砂流出対策事業、住宅リフォーム助成の需要増、上富良野小学校車両格納庫整備、以上4件の事業費を既決予算総額78億4千123万9千円に歳入歳出それぞれ5千730万円を追加し、総額を78億9千853万9千円としました。

第7回臨時会（11月29日開催）

平成28年度各会計補正予算を可決

平成28年人事院勧告により、国においては「一般職の職員の給与に関する法律」の一部を改正する法律案を臨時国会に提出し、11月16日に可決成立したため、本町の職員の給与についても勧告内容を参酌し、所要の改正を行いました。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を適用し、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、ラベンダーハイツ特別会計、公共下水道事業特別会計、水道事業会計の給与費の補正を行う議案が可決されました。



第7回臨時会



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
8	村上 和子 議員	① 保健福祉分野を一か所で相談支援できる総合窓口の設置を ② 子育て支援策として「妊娠・出産・子育て」トータルケア事業の実施について
9	中瀬 実 議員	① 農業振興計画の課題の進め方について ② 町内の学校におけるいじめ、不登校に対する現状と対策・課題について
10	荒生 博一 議員	① 十勝岳ジオパーク構想について ② 新しい賑わいづくりについて
11	岡本 康裕 議員	① 市街地の活性化について ② 十勝岳の避難用シェルターについて
12	米沢 義英 議員	① 医療福祉施設の一体化整備について ② 富良野線の維持存続について ③ 国保税の引き下げについて ④ 中学生までの医療費の無料化について ⑤ 中学校指定ジャージの無償給付について
13	高松 克年 議員	① 国民健康保険制度の改正について



—村上 和子 議員—

福祉

保健福祉課を利便性高め総合窓口設置を 総合窓口設置はしないが わかりやすい表示へ改善する（町長）



①、②、③、④の表示のある保健福祉課

村上議員 保健福祉課

は健康推進班、高齢者支援班、地域包括支援センター、福祉対策班、子育て支援班、子どもセンター等の班に分かれているが、高齢者や障がいのある方、子育て家庭の相談支援や地域の支合い拠点、地域包括支援センターが縦割りで、わかりにくい。数字を振った縦30cm、横40cmの表示看板が上にあるが、文字も小さく、どこに相談するかわかりにくい。これらを使い勝手良

く、生活の不安や、住み慣れた地域で暮らし続ける事の心配ごと等の相談をしやすい体制づくりが必要では。表玄関によりわかりやすく表示する等工夫し、便利で身近な総合窓口の設置を。

向山町長 保健福祉課

全体が総合窓口的機能を果たしているが、今後は、表示の仕方に工夫や改善の余地はある。十分参考とし、目線の高さや町民にわかりやすい表示等を考える。

子育て

妊娠、出産、子育て

産後健診事業の拡大、子育て包括支援センター機能の充実を図る（町長）

村上議員

子育て支援事業として、妊娠、出産、子育てを一つのトータル事業とし、本場に支援が必要などころに必要なサービスが届く、国や道の補助制度を視野に入れた効果的な予算付けをし、利用者のニーズを適切に見極めるため、アンケートの実施をしてはどうか。

向山町長

妊娠期、子育て期の支援を班一体となり、切れ目のない支援をしている。今後は、産後健診事業やマタニティ教室事業を拡大し、包括的支援の充実を図りたい。

村上議員

双子や障が

えていない。アンケートは、3年前に調査しているので考えていない。



子どもセンターで遊ぶ子供たち

いを抱える困難度の高い家庭には、2倍の支援を。

向山町長

対象家庭や家族の対話、日常の思いや悩みの共有が少ない多胎児や障がい児の親のネットワーク活動の推進を図る。

村上議員

妊産婦が安

心して出産、子育てのできる町に。診療体制が不安定なため、交通費や足の確保等考えられないか。

向山町長

地域として安心して出産できる体制、子育てしやすい状況づくりが大事。できることから手掛けたい。



農業

— 中瀬 実 議員 —

農業振興計画の課題の進め方について 積極的な施策展開を図っていく（町長）



第7次農業振興計画

中瀬議員 今後経営面
積の増による人手不足
に対し、どのような対策を
考えるか。

向山町長 作業の効率
化と省略化を図るため、
TMRやコントラク
ターの導入を検討して
おり、これらの事業を通
じ、規模拡大等に対応し
た人手不足解消につな
げたい。

中瀬議員 農地防災、減
災事業の取り組みへの
考えは。

向山町長 農業者が自
らの努力で対応してい

ただける部分、公をもつ
て対応する部分、両方効
果的に組み合わせる減
災対策を進めたい。

中瀬議員 効率の悪い
畑作地帯の基盤整備、均
平等の事業を推進する
考えは。

向山町長 当町の基盤
整備事業が半分にも満
たなく、限りなく100
%に近づけることが最
優先されるべき。あら
ゆる方法を模索しなが
ら、対象地域の方々に
対し、情報発信と要望を
伺い、推進したい。

教育

町内のいじめ不登校の現状と対策課題は
町のいじめ防止基本方針で
取り組んでいく（教育長）

中瀬議員

初期の段階

で、子供たちが発するS
OSをしつかりキャッ
チすることが重要と思
われるが、いじめ防止条
例が制定されて、いじめ
の件数は減ったのか。

服部教育長

条例制定

後、昨年度のアンケート
調査では、1回目63件、
2回目43件、本年度は1
回目13件、2回目10件で
あった。

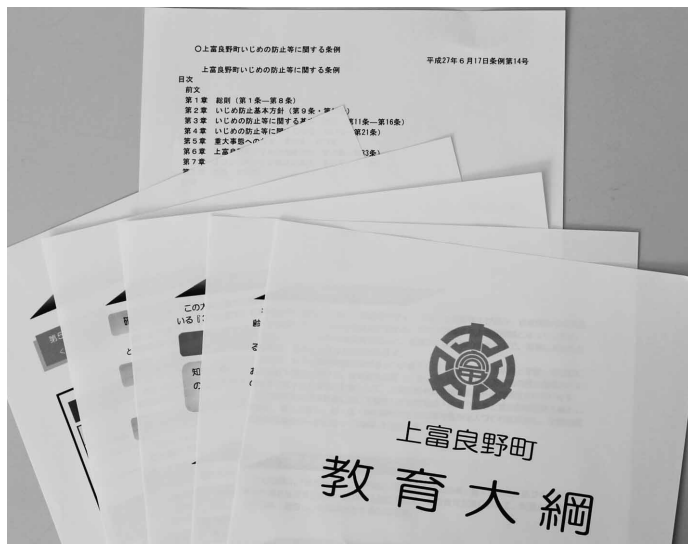
中瀬議員

今後におけ

るいじめ、不登校に対す
る未然防止の考えは。

服部教育長

平成30年



教育大綱といじめ防止条例

を目標にコミュニティ
スクールを進めたい。
学校運営協議会組織
をつくり、地域、学校、
保護者が学校の運営に
ついて一緒に進め、情報
の共有化を図り、対応し
ていきたい。

平成30年から道徳が
教科として位置づけさ
れ、道徳教育の中で、い
じめに対する教育をし
つかりしていく。こ
れらをやる事によって、
さらに環境が整うもの
と考えている。



— 荒生 博一 議員 —

今後の周知活動はどのように進めていくのか 講演会・フィールドワーク等の 催しを行う（町長）

ジ
オ



平成 28 年 5 月に開催されたジオフェスタ

荒生議員

今後は、ジオ

カフェや出前講座のほか、どのように町民に参画を求めているのか。

向山町長

ジオパーク

の周知や町民の参画は、これまで延べ1千人を超える方々に十勝岳ジオパーク構想の意義や魅力、また、住民参加の重要性などについて、積極的に周知活動を行ってきた。

ジオパーク事業の推

進の要は、いかに多くの

住民の皆様と価値を共

有するかということと

認識している。こう

いった観点から、まだま

だ周知活動やPR活動

を積極的に行うべきと

考えており、今後ジオ

パーク講演会やフィー

ルドワークなど、多くの

方が興味を持って参加

できるような催しや、講

演活動など引き続き進

めてまいりたい。

観 光

新しい賑わいづくりの創出を

イベントの充実を行い

推進していく（町長）

荒生議員

収穫祭とま

るごとプレミアムビー

ルのビアガーデン、二つ

のイベントが重なる可

能性は。

向山町長

今年初めて、

皆様方のご協力をいた

だき、収穫祭を実施さ

せていただいた。このお

祭りについては、将来に

大きく発展させる、バイ

ロット的なイベントと

位置づけており、いろ

ろな課題を発見しう

いうことで、今年開催

させていただき、多くの

ことを得ることができ

た。

この上富良野の収穫

祭を語る中で、ビールを

抜かすということに、ど

うもの足りなさを感じ

ており、既に担当課を

通じ、サッポロビールさ



多くの人で賑わうまるごとかみふらのピアガーデン

んに、年に2回、夏のま

るごとかみふらのピア

ガーデンと、さらに秋に

もプレミアムビールを

飲めるような醸造対応

が可能かどうか、打診を

している。

どういうようなボ

リュームでできるかは

別として、ジョイントさ

せたいということは考

えている。



まち

— 岡本 康裕 議員 —

駅周辺の活性化は 大型プロジェクトは考えていない（町長）



現在の JR 上富良野駅

岡本議員 今後のまち

づくりにおいて、駅周辺をどのようなとらえ方をしていくのか。

向山町長 駅はそのまま

の顔でもあり、玄関であるが、今日までの経過も踏まえ、駅周辺整備を核とした大型プロジェクトによる活性化策は、大変難しい状況である。

岡本議員 執行方針で、

新たな複合的機能を有する拠点づくりが重要とあるが、駅周辺は候補の一つか。

向山町長 現時点では、

構想づくりに着手する

準備段階にあり、整備予定地などは白紙の状況である。実現に向け、広く町民や関係者の御意見をいただき、構想づくり作業にも参加していただくことも想定している。

岡本議員 駅周辺に開業する新規の出店者に対して、有利な補助制度は考えられないか。

向山町長 今後の議論の中で、民間と行政が一つになってなし得ることは可能である。行政が応援することは、当然

するべき。

防 災

十勝岳にもシエルターを

実現を目指し、要望活動を進める（町長）

岡本議員

美瑛町にはシエルターが新設されたが、上富良野町側にはまだ設置されていないが。

向山町長 登山者の安全確保のため、シエルター整備は必要であり、登山道が国有林、国立公園内にあることから、国の事業として実施されるよう、中央要望を行ってきた。また9月の活動火山対策連絡会議による要望においても、本要望を盛り込んだ。

十勝岳は重要な観光資源であり、安心して登山ができる環境整備は避けて通れず、引き続き十勝岳の砂防事業や避難小屋整備などとあわせて、実現を目指し、要望活動を進めたい。

岡本議員

既存の避難小屋を強化する考えは。

向山町長 避難小屋は北海道のもので、町が主体的に対応できない。以前から北海道に、避難小屋の窮状を訴えている。非常に老朽化している、早期に改修してほしい。

しいと伝えているが、実現に至っていない。山岳会などの皆さん方が献身的に維持してくれているのが現状。そういったことも北海道に伝えている。これからも粘り強く要望していく。



老朽化している現在の避難小屋



—米沢 義英 議員—

施設

医療・福祉施設の一体化整備の対応は 用地・財源確保等の課題が多い（町長）



老朽化し改築が必要な町立病院

米沢議員 消防法等の一部改正で、病院にスプリンクラー設備の設置が義務付けられたが対応は。

また、町立病院、特別養護老人ホーム、病院内の老人保健施設等の一体的な整備とは。

向山町長 スプリンクラーの設置に必要な工事費用は、概ね2億円弱が見込まれ、工事期間も約6か月になり、診療・入院等に支障を来し、病院運営にも影響を生じ

ることが想定されるため、現在の町立病院への設置は無理と認識している。

医療施設と福祉施設の一体的な整備を図ることで、医療従事者と福祉従事者の連携も強化され、人材の活用や患者・入所者へのサービスの向上も図れると思われる。

構想の具体化に向けては、用地・財源等多くの課題があり、方向性を見定めたい。

子 育 て

中学生までの医療費の無料化を 想定していない（町長）

米沢議員

子育て中の

親からは、負担軽減のためにも医療費の無料化を中学校まで拡大できないか、と望む声があるが、今後の対応は。

向山町長

中学生までの

の医療費の無料化は、平成29年度4月から子育て世帯における市町村民税所得割非課税世帯に対し、中学校までの通院・入院に係る医療費について、全額助成を行うよう改正する。

中学生までのすべての子供の医療費無料化は、統計的にも中学生からの医療費は急激に低下している状況にあり、その中でも特に支援が必要な子供に対しては、各種公的制度等が補完されている。



部活に励む中学生

町は、「健康づくり推進のまち」として子供の健康増進を図るため、子育て各分野において、必要に応じた切れ目のない支援策を講じること

が重要と考えていることから、中学生までのすべての子供の医療費無料化は、想定していない。

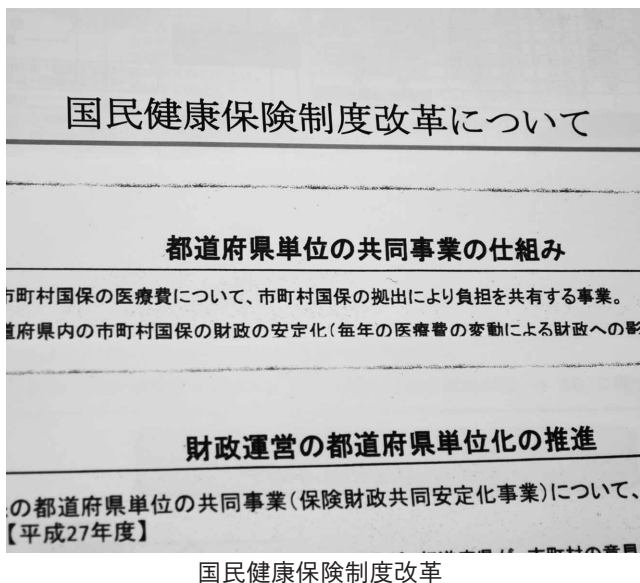


制度

— 高松 克年 議員 —

国民健康保険制度の改正について

新制度移行に向けて、対応準備を進める(町長)



高松議員 30年度より国保制度が全道一元化されるが、現在の本町加入者の所得水準が下位となっているが。

向山町長 北海道が財政運営責任者となり、各自治体(国保納付者)で構成することになる。11月1日に、各自治体納付金が仮算定された。質問の所得水準については、管内での平均値には達していないが、町村によって職業構成

や年金受給者割合により大きく変動する。年度により位置付けは大きく変わると思っている。

高松議員 管内町村で下位3番だが、全道が一元化となったとき、納付者(税)としては、所得水準からも厳しいのではと思うが。自営業、年金受給者が主体の町では、変化は少ないのでは。

高松議員 所得水準を押し上げられないと、納付する保険税に対して負担増になると思うが。

向山町長 現在も低所得者に対しての軽減は国において行われており、今後も担保されるため、負担増にはつながらないと理解している。

11月の仮算定の中でも、本町の国保税の平均水準はマイナス0.5%となっており、適正な課税水準に現在はある。国保税が低くなることは望ましいが、負担感を軽減するために産業全体を強化していくことはわかるが、保険税のあり方に直ちにつながるものではないと思う。

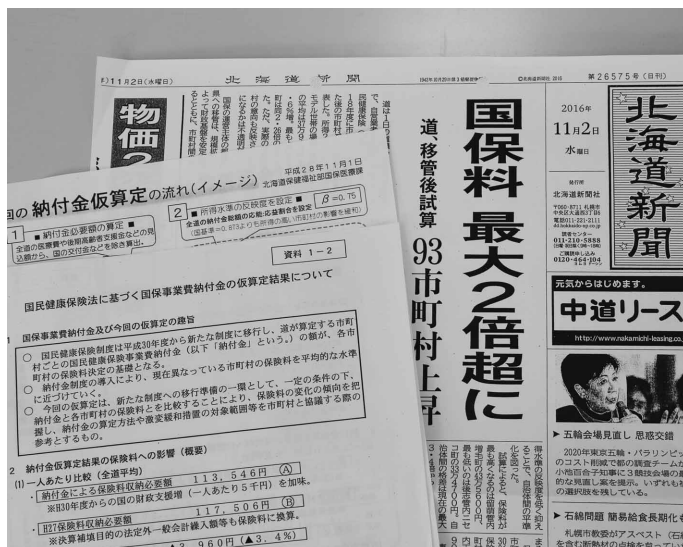
高松議員 新制度の中で本町が行っている各保険事業については、この状態のまま進め続けられるのか。

向山町長 道が運営者となっても、保険者共通、国保固有の事業について、国は指標を示しており、反映されていくと理解している。

高松議員 各保険者努力支援については現在、前倒し分の数値が示されていないとのことだが、町が行っている努力支援で示す、疾病予防を続けなければならないと思うが。

向山町長 国が努力支援について30年から、800億円規模で財政支援を予定している。保険者共通では、特定健診、特定保健指導、糖尿病等の重症化予防等の6項目、国保では税の収納率、医療費通知等の5項目が候補として評価される。

新制度に向けて情報収集と周知に努める。



給付金仮算定の資料と道新の報道

総務産建常任委員会

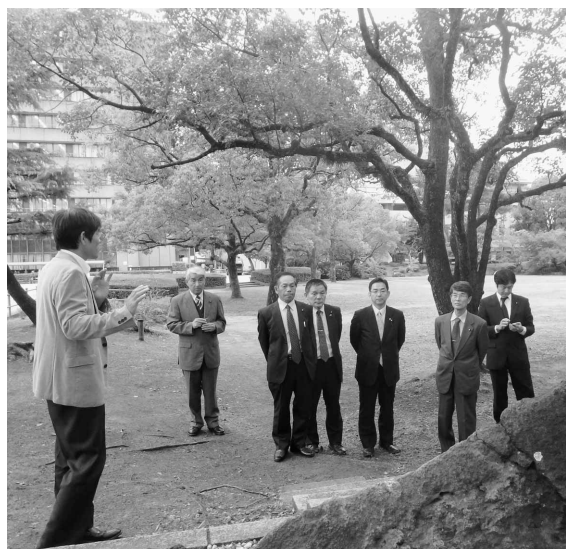
平成28年第1回定例会で閉会中の継続調査として申し出た「友好都市提携の方向性について」及び「ジオパークによる地域活性化について」を、10月17日から20日までの4日間、三重県津市及び静岡県伊豆市を視察し、調査を行いました。

友好都市提携の方向性

三重県津市

三重県中部に位置し、人口約28万人の三重県の県庁所在地です。津市との交流は、歴史的な結びつきから平成9年7月30日に上富良

野町開基100年を記念し、友好都市提携の調印がされました。平成29年には提携後20周年を迎えるため、津市の特徴や実態把握を目的に視察を行いました。



友好都市提携記念碑の視察の様子

まとめ

公共施設の建設や施設運営にあたり、地元自治体と共助のもとに運営されている実態などを視察・調査することができました。

津市とは、三重県安東村（現在の津市）出身の田中常次郎を総代とする一行8名が草分地区に入ったことから、友好都市提携が結ばれ、節目

の20周年を迎えます。

これを機に、さらに意義深い交流を進めていく必要があります。

現在までの交流をベースに、さらなる経済交流の進展と、友好都市提携を将来支えていく人材を育てていくために、互いの町や市を訪問し、理解し合う人たちの増やしていくことが重要です。

ジオパークによる地域活性化

静岡県伊豆市

ジオパークの拠点となる「ジオリア」が設置されており、伊豆半島ジオパーク推進協議会の事務局もこの施設内におかれています。事務局体制は、事務局長兼ジオリア館長1名、県派遣職員1名、市町派遣7名、専任研究員1名、臨時職員1名の11名体制で、現在は世界ジオパーク認

定に向けての活動を進めています。

伊豆半島ジオパークは、沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町の伊豆半島7市8町で構成され、平成24年に日本ジオパークの認定を受けています。

まとめ

ジオパークミュージアム「ジオリア」は、子供からお年寄りまで誰もが理解しやすく、五感に訴えた体験や、総合案内機能と情報発信機能が十分に発揮される施設でした。

「伊豆はひとつ」を合言葉に、それぞれの自治体の個々の活動が、ジオパークの認定を受けることで一体感が生まれ、地質や歴史・文化を観光や教育分野へと発展させ、さらにはガイドの養成にも力を注ぎ、高校生から

お年寄りまで多くの人々に関わりをもたせていることが大いに参考となりました。

伊豆半島ジオパーク推進協議会は、7市8町という構成で、参加市町村の取り組み姿勢や考え方には温度差もあるようですが、本町が美瑛町と進めている「十勝岳ジオパーク」は、相互理解と統一した考え方で地域活性化のため、日本ジオパーク認定に向けて、さらなる努力をされることを期待します。



伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア

議会の窓



10月26日

全員協議会
第6回臨時会

11月8日

上川管内町村議会議員研修会
総務産建常任委員会
議会運営委員会
総務産建常任委員会

14日

富良野沿線市町村議会議員研修会

29日

第7回臨時会

全員協議会

12月5日

総務産建常任委員会
厚生文教常任委員会
総務産建常任委員会
議会運営委員会

6日

全員協議会

8日

議会広報特別委員会
第4回定例会（1日目）

13日

第4回定例会（2日目）

14日

議会広報特別委員会
総務産建常任委員会
全員協議会

21日

22日

1月16日

議会広報特別委員会
議会運営委員会
全員協議会

25日

議会広報特別委員会

26日

議会広報特別委員会
総務産建常任委員会

31日

◆上川管内町村議会議員 研修会に参加しました。

10月26日に美瑛町で開催され、議員13名が参加しました。

時事通信社解説委員長 山田恵資氏による「政治の行方を展望する」、北海道保健福祉部健康安全局 国保医療課長 望月泰彦氏による「国民健康保険制度改革について」の講演を聴講しました。



挨拶をする西村議長

◆富良野沿線市町村議会議員 研修会に参加しました。

11月24日に中富良野町で開催され、議員13名が参加しました。

北海道保健福祉部 子ども未来推進局子ども子育て支援課長 永沼敦紀氏による「北海道における少子化の現状と課題について」の講演を聴講しました。



質疑応答の様子

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

3月7日（火）	報告案件、補正予算など
8日（水）	新年度予算など
14日（火）	一般質問
15日（水）	一般質問
27日（月）	条例改正などです！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 ④56992

み～つけた!!

☆ぴか☆つと輝くまちのひと



地元に戻り頑張る井村さん

井村祐太さんは高校卒業後、本州の会社へ勤めておりましたが、3年前に親元へ戻り、農業後継者としてファームいむらを支えています。地元に戻って農業をすることになったきっかけは、会社勤務をしていたときに、転勤があったことが戻る理由になったとのことでした。農業をやっている大変だと思うことは、天候に左右されることと、一年に一作しか収穫ができないので、その年によつては厳しいと思うとのことでした。これからの夢や目標をたずねると、今作っている作物を少しでも多く収穫できるよう頑張る、将来的には規模拡大を目指したいと話していました。

会社勤務からUターンして 農業を継ぐことに

今回は、日の出地区で株式会社ファームいむら（代表取締役 井村 悦丈さん）の後継者として頑張っている井村さんと野木さんの2人を取材させていただきました。

ミニトマトを栽培していて大変だと思うことを質問すると、「管理作業が結構大変。特に虫、病気の防除は早期に発見しなければならなので、見回りが重要で

野木春旗さんは結婚を機に、奥さんの父親である井村悦丈さんに「農業をやってみないか」と誘われ、5年前に就農しました。2年間は畑作の手伝いをして、3年前からミニトマトの栽培を任せられ、今ではハウス10棟50アールの面積まで規模を広げています。



息子さんと作業中の野木さん

結婚を機に農業を始めました

今回、井村さん、野木さん取材させて頂き、夢と希望、目標をしっかりと持っている2人が協力して、日の出地区や上富良野農業のため、更には青年部活動も頑張つてほしいと思います。（インタビュー…中瀬）

「す」とのことでした。収穫したミニトマトは、ふらの農協本所V Cセンターまで運ぶ作業もあるため、当面は現状維持をし、土壌消毒、土づくりをしながら品質の良いトマトを多く生産したいとのことでした。

■新しい年を迎え、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私も議員生活2年目、日々勉強し活動させて頂いております。■議会活動を皆さんにもっと知っていただくため議会広報を発行していますが、皆様が読みやすく分かりやすいようになっていくでしょうか。ご意見、ご感想など頂ければ幸いです。

■昨年も、日本列島で自然災害が多発しました。わが町も7月の集中豪雨、8月の台風で災害が発生し、近隣の町でも大規模な災害が発生しました。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますとともに、今年は、良い年であることを心よりお祈り申し上げます。

（北條 記）

議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	高松 克年
委員	北條 隆男
	竹山 正一
	荒生 博一
	中瀬 実